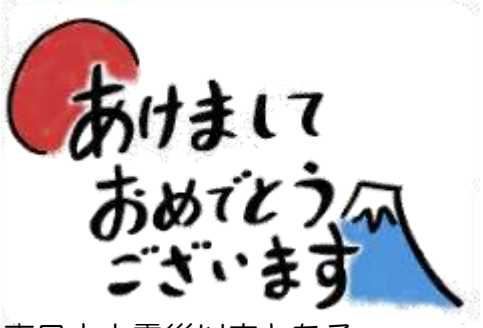
清く広く高らかに

第１５号　　令和６年１月９日（火）

柏原市立堅下南中学校　校長室だより

第3学期始業式を迎えて　「吐→叶　マイナスをプラスに」



新年あけましておめでとうございます。新しい年 2024 年を迎えました。今年のお正月は大変な地震と事故が起こりました。皆さんもご存知の通り、元旦の午後４時６分頃石川県能登地方を震源とする地震があり、震度５強を観測。さらに４時 10 分頃震度７を観測する地震があり、多くの建物が倒れる被害が起こりました。そして繰り返し、避難を呼びかける放送がテレビで流れ、東日本大震災以来となる大津波警報が発表されました。地震発生から１週間となった８日、石川県内で１６８名の方がお亡くなりになり、今も安否不明の方が３２３人います。

また２日の午後６時前に羽田空港で日本航空の旅客機と海上保安庁の機体が衝突し炎上しました。奇跡的にも乗客乗員は全員脱出できましたが、石川県への支援物資を運ぼうとしていた海上保安庁の方が５人犠牲となりました。謹んでお悔やみを申し上げるとともに、ご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、こういった大惨事が起きた時に、テレビやインターネットでは繰り返し現地で困っている方が映し出されます。自分にも何かできないかと感じた人も多いのではないでしょうか。「日常を送れる私たちはいつも通り日常を有意義に送る事」そして、「街中などで募金活動が行われていれば、少しでも募金をする。」などが、大切だと思います。

また、マグネチュードで言えば、今回の地震は２９年前の阪神淡路大震災の時よりも大きな地震でした。当時は約６400 人の方が犠牲になりましたが、今回の犠牲者の数だけで言えば、少なく済んでいます。それは、この地域では頻繁に地震が起こっていて、訓練が日常的に行われていたからだそうです。また、航空機の事故においても、客室乗務員の方が訓練をいかして、安全にそして速やかに乗客を避難させたことで、被害を最小限にできたことが評価されています。すなわち、日頃の備えと心構えが大切だという事です。学校での避難訓練を思い返すとともに、災害が起きた時にどうするのかを家族で話し合ってほしいと思います。

では、３学期のスタートにあたって、校長先生から皆さんに贈りたい内容に話を移します。今日から始まる３学期。学校で友達や先生方と再会しました。いっぱい語り合って先ずは３学期の、そして今年１年の目標を立ててもらいたいと思います。１年のスタートにあたり、それぞれが目標を立てるという事はとても大切なことです。今年１年が終わったとき、または、３学期が終わった時に、自分はどんな自分になっていたいのか、どんなことができる自分になっていたいのか。

ここで、１つの漢字を皆さんにお見せします。　吐　→　叶う

この漢字を何と読みますか？

口から外へ出すことを意味する漢字です。よく使われる言葉には、「弱音を吐く」「愚痴を吐く」「白状する＝どろを吐く」などがあります。あまり、いいイメージは持ちませんね。

では、そういったマイナスのイメージを取り払うと、、、どうでしょう。なんという字になりましたか？

そうです。**「かなう」**です。「願いが叶う」「望みが叶う」「目標が叶う」などに使われます。つまりは、「どうせ無理やし、今更遅いし。」やできないことを、周りの責任にして、愚痴を吐くことをやめて、「やってみよう、目標達成に向けて頑張ってみよう」という「プラス」の言葉を口に出すことで、「一緒にやろう」「応援しよう」という人も出てきます。そこでいろいろな人との関りが生まれます。マイナスよりもプラスの方がはるかに大きいです。口に出して自分を奮いたたせ、夢や望みをかなえて欲しいと思います。

昨年の 6 月に全校集会で校長先生から「主体性って何」というお話をしたことを覚えていますか。中でも主体性を高める方法について以下のスライドを示しました。

大切なことは、「自分で考え、やり遂げる経験」を積み重ねることです。大切なことは、自分の足で、力で上っていく事。エスカレーターのように勝手に誰かが次のステージへ連れて行ってはくれません。この３ヶ月は覚悟をもって自分で上がっていき、「やり抜く」「やり遂げる」期間です。頑張ってください。

「今年はこんな年にしたい」「こんな自分になりたい」その実現に向けて実り多い３学期にしましょう

１階廊下と3階廊下に照明器具（LED）を増設。明るくなりました。

冬休みに、１階の廊下と３階廊下（２年生前）に照明器具を増設しました。外光が入らないので、薄暗かったのですが、解消されとても明るくなりました。スイッチの入切など、大切に使うようにしてください。

１階廊下（増設後）

３階廊下（増設後）